

ラミフィルム・リサイクル通信

第21号 (3月22日号)

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！(^o^) ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です。しばらくぶりの発行になりますが、皆様いかがお過ごしでしたか？今回の21号は前号に続き、大阪ガス株のエンジニア・阪本浩規さんのインタビュー後半をお届けします。

ラミプロジェクトを支えるフレーン・大阪ガス(株) 阪本氏インタビュー②

ラミ通信・志賀口(以下ラミ通信)：相溶化技術の開発なさっていく上で一番の苦労はどんなことでしたか？

大阪ガス(株)・阪本氏(以下阪本)：リサイクルコストに見合う相溶化剤の開発ですね。お金に糸目をつけず特殊な薬品など添加すれば、本来混じり合いづらいプラスチック同士を混ぜ合わせることも技術的には可能ですが、それではビジネスとして成り立たせるのは無理ですし、ましてや価格の安い再生プラスチック原料の製造に利用するのは不可能です。このラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの話が持ち上がって以降、少量で十分な効果が上がるよう薬品の配合を更に工夫したり、マスター・バッチの基材にも再生原料を用いるなど、色々工夫を重ねてきたことで、今では元々の値段よりも約4割近くコストダウンが可能になったんですよ。

ラミ通信：4割とはすごいですね！相溶化剤のマテリアルリサイクルへの利用に目処が立ち、ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトが本格的に進行することになったのも、まさに阪本さんの努力のおかげです！では最後に、阪本さんの今後の目標は？

阪本：ユーザー様が何も犠牲にすることなく利用でき、環境にもやさしい欲張りな技術を開発していくことです。人も会社も一旦手に入れた便利さを手放したり、多大なコストをかけてまで環境保護をし続けることは中々困難です。たとえば、私も化石資源を無駄に使うのは良くないと分かっていても、寒いときに暖房はやめられません。ですから利便性や性能を損なわずに省コスト、省資源となる新技術を開発することで、ユーザー様のお役に立ちながら環境保護を加速させることがエンジニアとしての自分の使命だと思っています！

大学で化学を専攻しながら野球に打ち込んできたスポーツマンでもある阪本さん。「新しい相溶化剤を配合してもらえませんか」などプロジェクトからの難題にもいつもスピーディーに対応して下さる機動力はさすが体育会系だからでしょうか？本当に頭が下がるばかりです。

これまでプロジェクトに関わっている皆さんのインタビューを掲載させていただきましたが、ラミフィルム・リサイクルが徐々に注目を集めてきたのも、こんな風にプロジェクトに熱心にご協力いただいているメンバーがいるからこそです。皆さんありがとうございます！

業界紙「食品工場長2月号」、「食品包装2月号」に掲載されました！

すっかりご報告が遅くなりましたが、日本食料新聞社様発行「食品工場長 2月号」に、“積層樹脂フィルム・リサイクル・システムと食品工場廃棄物への応用”、そして、日報アイ・ビー様発行の「食品包装 2月号」に“食品工場廃棄フィルムの削減システムの提案～相溶化技術を活用した積層樹脂フィルムのリサイクル”というタイトルで、当プロジェクトの記事が掲載されました！ご興味のある方は、書店でバックナンバーをお求めください、もしくは当プロジェクトまでご連絡ください！

さて、次号では、インドでのプラスチックリサイクルの国際会議の模様をリポートします。お楽しみに！

まだまだ 新入社員・えいのオトボケ日記

もうすぐ新入社員
入社！でも…

みなさま、お久しぶりです！志賀口です！約2ヶ月も発行が滞ってしまい、たいへん申し訳ありませんでした。実は、

第20号の配信予定当日に会社のPCがクラッシュしてしまい、ラミ通信のバックナンバーや配信先メールアドレスなどのデータが消えてしまったのです！しかも、その時期は2月末にインドで行われる国際プラスチックリサイクルの会議のため、英文資料などを作成するまさに山場。とにかく緊急課題を優先しようやく3月も半ばを過ぎて、データ復旧もろもろにやつて着手できることになりました。

今回の教訓は、「バックアップは必ず取るべし」。まめなバックアップは面倒ですが、トラブルが起こってしまってからの対処の大変さを考えれば楽なものです。思い当たる皆さん、さあ、今日からバックアップですよ～！



パソコンの分解修理にチャレンジする志賀口。結構楽しいです♪

※お問い合わせ、ご質問は下記まで！

shigaguchi@fareastnetwork.co.jp

担当：志賀口えり

ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

事務局：株式会社イースト・ネットワーク

東京都新宿区西新宿7-1-7

ダイキンプラザA館 415号室

TEL: 03-5337-3235

FAX: 03-5337-3224

ラミフィルム・リサイクル通信

第22号 (4月6日号)

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは、ラミフィルム・リサイクル・プロジェクト・志賀口です！いよいよ新年度ですね！皆様の会社にもたくさんの新入社員が入社されたのではありませんか？ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトも、本年度もフレッシュな気持ちでプロジェクトPRに邁進したいと思っております。よろしくお願ひいたします！

さて、昨年末より、業界団体様での講演や、雑誌・新聞などへの掲載などが増えた当プロジェクトですが、今年はどうとうインドへ進出していました！ラミ通信22号、23号では、当プロジェクト代表・村井健児のインド会議出席の模様をレポートいたします！

インド人もビックリ?! ラミリサイクルプロジェクト・インド進出レポート

2007年2月23日～27日、インド随一の商業都市ムンバイと、インドの首都デリーの2会場において、インドのプラスチックの専門家の団体"Indian Plastics Institute"が主催する、プラスチックリサイクルについての国際会議"Recycling of Plastics"が開かれました。リサイクル業者以外の方はあまりご存知ないと思いますが、インドは中国に並んで、世界でもプラスチック・リサイクルが盛んな国の一つです。主にヨーロッパ方面を中心に、遠くはアメリカからも、工場から排出されたプラスチック廃材が大量にインドに送られリサイクルされており、近年ではインド全土で数千社ものプラスチックリサイクル業者があると言われています！

今回の会議"Recycling of Plastics"は、そんなインドで開かれた初のプラスチックリサイクルの国際会議です。日本から招かれたのは、プラスチック処理促進協会・尾崎様、日本プラスチック工業連盟・勝浦様、そして当プロジェクト代表の村井の3名。はるばるインドの地にて、日本代表の一人として複合樹脂のリサイクルについて講演してまいりました。

実は、今回 Indian Plastics Institute より会議出席のお誘いをいたいたきっかけは、当ラミリサイクル・プロジェクトに相溶化技術を提供してくださっている大阪ガス(株)グループ様です。昨年5月に大阪ガスグループ様が「日本・マレーシア プラスチック国際交流会議」に出席された際に、マレーシアのとある業界紙の取材を受けたのですが、その時の記事を読まれたインドのMr. Vijay Merchant氏(Indian Plastics Institute・委員)よりコンタクトをいただき、今回の出席につながったのでした。遠い国からこんなご縁が巡ってくるなんて、人のつながりって本当に不思議なものですね！

一昨年のタイ＆ベトナムなど、これまで展示会への出展という形での海外進出はありましたが、今回のように国際会議でスピーカーとしてプロジェクトについてPRするのは、当プロジェクトにとっては初めての経験です。まずはラミフィルム・リサイクルの資料やこの「ラミ通信」を英語に翻訳する作業に始まり、様々な下準備を経て、とうとう村井社長のインド出発日を迎えたのでした。

注目の会議の模様については、次号・23号でたっぷりお伝えします！次号もお楽しみに！

お詫び:21号ラミ通信で、月刊食品工場長の発行元である日本食糧新聞社様の社名を「日本食料新聞社」と間違えて表記しておりました。ご関係の皆様にご迷惑をかけましたこと、深くお詫びいたします。

先輩社員・えりのハリキリ姐御日記

志賀口えり

さて皆様、早いもので今年もう4月ですね！オトボケ新入社員・シガゲチも入社よりはや1年、とうとう後輩を迎える事となりました。3月は新人とともに新人研修を行ったのですが、後輩たちに業務内容を教える自分の姿に、「なんだかんだいっても、人間1年たてば進歩するものだなあ。」としみじみ感じました。これからも、新人の頃の初心さを忘れず、更に大きく仕事人として人間として成長できるよう頑張っていこうと思います。

さて、本年度の新入社員の2人をご紹介しましょう！一人目は、ピッカピカの新卒、射るような大きな目と長いまつ毛が印象的な井口博愛(ひろえ)さん。東京農業大学で森林政策を研究していた環境のプロです！中堅企業の内定を断り、「この会社のほうが自分のやりたい仕事ができそう」と弊社のような小さなベンチャー企業に入社してしまう大胆さが何より素晴らしいですね！二人目は、ホッとするような笑顔が癒し系な24歳の上田浩貴さん。大学を出て有名飲食店グループに努めていましたが、「環境保護に役立つ仕事をしたい」という夢を捨てきれず、今回弊社に転職してきました。「真剣に環境貢献したい！」という熱意マンマンな2人が加わって、今年もますますプロジェクトを加速していきたいと思います！今後、井口＆上田がみなさんのところに営業などでお伺いすることもあると思いますが、その際はぜひ優しい目で見守ってやって下さい！よろしくお願ひいたします！

お問い合わせ、ご質問、「ラミ通信」メール配信のご依頼などは下記問合せ先へ！担当は志賀口(しがぐち)です！

発行:ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会 事務局:「積層樹脂フィルム専門リサイクルコンサルティング」(株)ファー・イースト・ネットワーク

東京都新宿区西新宿7-1-7 ダイカンプラザA館 4階 TEL:03-5337-3235 FAX:03-5337-3224 main@fareastnetwork.co.jp

Multilayer Film Recycling(1/2)

- Large emission

240,000ts per month are emitted in Japan

- Hard to sort and recycle

Food flexible packaging films need to have gas barrier properties. Therefore, many different films are laminated.



Incinerated



Land filled

英語プレゼン用スライド。志賀口の汗と涙の結晶です。大量の資料翻訳は大変でした。



ムンバイでの会場となったUICT(ムンバイ化学技術大学)。由緒ある建物です！

ラミフィルム・リサイクル通信

第23号 (4月16日号)

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

皆様こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です！今号は前号に引き続き、2007年2月23日～27日にインドにて開催された国際会議“Recycling of Plastics”出席の模様をお届けいたします。

インド人もビックリ?! ラミリサイクルプロジェクト・インド進出レポート



記念写真をパチリ。左より、岡山大学でプラスチックを学んだというインド人の方、日本プラスチック工業連盟・勝浦様、プラスチック処理促進協会・尾崎様、当プロジェクト村井です。



壇上でプレゼンする当プロジェクト代表・村井

インド初のプラスチック・リサイクルの国際会議 “Recycling of Plastics”。参加者はプラスチックリサイクル業者、リサイクル機器メーカーなどのプラスチックリサイクル関係者から、業界団体の方々、大学教授までと幅広く、また、参加者の地域も地元インドを始めアジア、ヨーロッパにまで及ぶ、まさに世界規模の会議でした。

日本人プレゼンターの一人として参加した当プロジェクト代表・村井の今回の講演のテーマは、「相溶化技術を利用した複合樹脂廃棄物リサイクル技術」。ラミネーションフィルムリサイクルに始まり、様々な業種の工場から大量に出てくる複合プラスチック廃材を例に挙げ、相溶化技術を利用した再資源化のテクニックを紹介しました。

反響は非常に大きく、プレゼン終了後は参加者が列をなして、「コストはいくら?」「どんな種類の複合樹脂がリサイクル可能になるのか?」などと質問攻撃をしてきます。ランチの間やティータイムにも、どんどん人が集まってきて質問タイムになってしまふため、満足にご飯も食べる時間がないほどでした。やはり、世界中どこに行っても複合樹脂廃棄物リサイクルの問題には皆さん頭を痛めいらっしゃるんですね。

今回の“Recycling of Plastics”では、日本から持っていた100枚の名刺は名刺交換すべて配りきってしまい、うち10社以上と現在もコンタクトが続いております。2社には既にサンプルの提供も決まり、これからインドでのプロジェクトの進展が楽しみな状況になってきました！

「第8回コンバーティング機材・特殊印刷展」(CMM JAPAN & JSP 2007)出展！

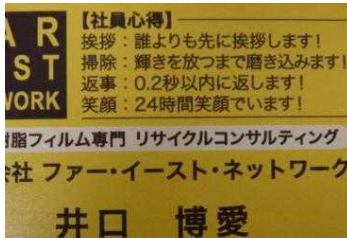
さて、コンバーターの皆様の中には、「印刷付きラミフィルム・スクラップは、できれば社外に持ち出さず処理したい」というご希望をお持ちの方も多いのではないでしょうか？当プロジェクトでは、そんなコンバーター様のご要望をかなえるべく、このたびサカタインクス株式会社様と組み、お客様のグラビア工場

キラキラ新入社員・ヒロエのはじめの一歩

井口博愛

皆様、はじめまして。4月2日に株式会社・イースト・ネットワークに入社いたしました井口博愛と申します(*^_^*) 学生から社会人になったばかりでわからぬことだらけですが一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします

さて、入社して人生初の名刺を持つことになりました。弊社の新しいデザインの名刺には、社員心得として挨拶、掃除、返事、笑顔が紹介されています。その一つが「挨拶：誰よりも先に挨拶します！」なのです。当たり前のことでありますが、これがなかなか大変です。朝、出社する際に天井に響くような大きな声で元気に挨拶できなければ、オフィスに入れられません(*^_^*) 人の元気にしてしまうような挨拶ができるように頑張りたいと思います。



弊社名刺を大公開！会社ロゴ横の4ヶ条がウワサの社員心得です

内に専用リサイクル機を設置し印刷フィルムスクラップを処理する「プラスチックフィルム・クローズド・リサイクル」を提案することにいたしました。

なんと、4/25～28日に東京ビックサイトにて開催される「第8回コンバーティング機材・特殊印刷展」(CMM JAPAN & JSP 2007)のサカタインクス株式会社様のブース(小間 東1ホール1-601)にて、「環境対策機材」として、VOC処理設備などと共に、当リサイクルシステムが紹介されます！みなさま、25～28日はぜひCMMのサカタインクス株式会社様ブースへお越しください！ラミプロジェクトのスタッフがお待ちしております！

編集後記

只今新人研修真っ只中のシガグチは、通常業務+新人教育で通常の2倍働いてもうフラフラです。GWまではこのペースでしょうか。今年のGWは沖縄・座間味に行きますが、早く青い海でリラックスしたい！なお、今回よりしばらく「えり姉御日記」はおやすみ。キラキラ新入社員ヒロエの連載が始まります。妹分ヒロエちゃんをどうぞよろしく！

お問い合わせ、ご質問、「ラミ通信」メール配信のご依頼などは下記問合せ先へ！担当は志賀口(しがぐち)です！

発行:ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会 事務局:「積層樹脂フィルム専門リサイクルコンサルティング」 株式会社・イースト・ネットワーク
東京都新宿区西新宿7-1-7 タイカンプラザ A館 4階 TEL:03-5337-3235 FAX:03-5337-3224 main@fareastnetwork.co.jp

ラミフィルム・リサイクル通信

第24号 (4月23日号)

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

「第8回コンバーティング機材・特殊印刷展」出展のご案内

皆様こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です！

前号でも告知しましたとおり、当プロジェクトの事務局である(株)ファー・イースト・ネットワークは、このたびサカタインクス株式会社様にご協力いただきまして、4月25日～28日に東京ピックサイトにて開催される「第8回コンバーティング機材・特殊印刷展」(CMM JAPAN & JSP 2007)に出展することになりました！

期間中はサカタインクス株式会社様のブース(小間 東1ホール1-601)内の「環境対策機材」コーナーにて、VOC処理設備などと共に、当プロジェクトが提案する「印刷フィルム 工場内クローズド・リサイクル・システム」が展示されます！「工場内クローズド・リサイクル」とは、コンバータ様の工場内に小型のプラスチック再生加工機を設置し、印刷フィルムを社外に持ち出すことなくリサイクルする方法です。コンバーターの皆様にとっても、「工場外にフィルムを持ち出さなくともリサイクルでき、不法投棄・海外流出などの心配がない」という点で、非常に香味をもっていただけるのではないかと思っております。皆様、4月25日～28日は是非、東京ピックサイトへお越しください！

さて、ラミ通信24号、25号では、この「第8回コンバーティング機材・特殊印刷展」出展記念として、サカタインクス株式会社・富原道晴 事業開発推進本部長にインタビューしました！

CMM JAPAN & JSP 2007 出展記念企画/ サカタインクス株式会社・富原部長(事業開発部推進本部) インタビュー



富原道晴氏(サカタインクス株式会社)

ラミ通信：一番最初に、当プロジェクトのことを耳にされたきっかけは？また、その時の印象はいかがでしたか？

富原部長(以下、富原)：プロジェクト代表の村井氏が、「ラミネーションフィルム・リサイクルをコンバータに広めるためにご協力をいただけないか」と私共を訪ねていらしたのが、最初にこのプロジェクトを知ったきっかけです。これまでマテリアル・リサイクルが不可能だったラミネーションフィルムを再生原料化するという新奇さはもちろんでしたが、プロジェクトのことを熱心に語る村井氏の姿が非常に印象に残り、「環境のことを真剣に考えている人物だな。この人なら一緒に組んでも大丈夫だろう。」と思いました。

ラミ通信：当プロジェクトのどのあたりに注目されたのか教えてください？

富原：ラミネーションフィルムの処分には産廃処理費用が発生するだけではなく、常に業者による不法投棄や不正再使用というリスクが伴うため、コンバータにとってはコンプライアンスにかかる大きな問題となっています。これまで、廃プラスチック油化溶融によるプラントを工場内に設置し、プラスチックを油化、発電する取り組みを行ってきました。しかし、油化プラントの価格は非常に高価なため大多数の工場には導入が難しく、また、技術的に乗り越えられないPET、ナイロン等の大量処理の問題もあり、大きく普及はしていません。

そんな中で、このラミネーションフィルム・リサイクルを知ったのですが、油化プラントよりも、はるかに低価格の設備で、単層フィルムもラミネーションフィルムも工場内でペレット化でき、セキュリティが可能になる、さらに出来上がった再生原料が販売可能である、という点に安全、信頼と経済性の両立ということに非常に魅力を感じました。

ただ、大型工場にしが導入できない設備でなく、排出量の少ない中小のコンバータも利用できる、工場内に設置可能な、処理能力も小さい機械を設計していただくよう、村井氏に相談したわけです。それが、この「工場内クローズド・リサイクル」の始まりでした。

(後半は第25号に続きます。)

編集担当・シガゲチ、最近ヨガを始めました。ヨガレッスンでは、ヨガのポーズとポーズの間に、横になった体勢でリラックスしますが(死体のポーズといいます)、先日あまりに疲れていた日に、不覚にもこの死体のポーズで眠ってしまったらしく、結局レッスン終了後に先生に起こされました。ああ恥ずかしや。皆さんも、寝不足・過労をしないようお気をつけください！

お問い合わせ、ご質問、「ラミ通信」メール配信のご依頼などは下記問合せ先へ！ 担当は志賀口(しがぐち)です！

発行:ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会 事務局:「積層樹脂フィルム専門リサイクルコンサルティング」(株)ファー・イースト・ネットワーク
東京都新宿区西新宿7-1-7 タイカンプラザ A館 4階 TEL:03-5337-3235 FAX:03-5337-3224 main@fareastnetwork.co.jp

ラミフィルム・リサイクル通信

第25号 (4月25日号)

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

皆様こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です！

さて、今回の25号では前号に引き続き、本日4月25日より28日まで東京ビックサイトにて開催中の「第8回コンバーティング機材・特殊印刷展」への出展を記念し、サカタインクス株式会社・富原部長のインタビュー・第二弾をお届けいたします。

CMM JAPAN & JSP 2007 出展記念企画

サカタインクス株式会社・富原部長(事業開発部推進本部)インタビュー

ラミ通信：日ごろからコンバータのニーズについて熟知してらっしゃる富原部長ですが、ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトに今後どのような技術開発を望まれますか？

富原部長(以下、富原)：やはり、アルミ蒸着フィルム・アルミ箔付きフィルムを処理できるようリサイクル技術の早期の開発ですね。

ラミ通信：そうですね。私たちも色々なコンバータ様にお話を聞かせていくことが多いのですが、やはりアルミ付きフィルムに関してのリサイクル技術を早く確立してほしいとのご要望をよくいただいております。アルミ蒸着品に関しては、ペレット加工の実験は終わり、現在商品化に向けてのテスト成形などを行っている段階です。また、最近決定したばかりなのですが、この5月から、アルミを除去するための特殊な設備を使用して、アルミ箔付きフィルム・リサイクルのトライアルに入る予定になりました。早くいい結果を出せるよう、今後の技術開発に頑張っていきます！

さて、最後に読者の皆様、およびラミネーションフィルムプロジェクトへのメッセージなどあればお願いいたします。

富原：サカタインクスはインキという消耗品を提供する業者であるため、定期的にお客様であるコンバータとお会いして話を伺う機会が多くなります。すると、自然とコンバータの置かれている状況や、ニーズ、悩みなど様々な情報が耳に入ります。お客様の抱える問題への解決手段を探り、ベストな方法を提案していくことを通じて、単にインキを販売するだけにとどまらず、いわばコンサルタントとしてあらゆる面からトータルにコンバータのお役に立っていくことが私たちの目標とする姿ですね。印刷フィルムの不法投棄・海外における不正使用などの問題はすべてのコンバータにとっての大きな問題で、場合によっては取引にかかる事態になりかねない問題です。この「工場内クローズド・リサイクル」の普及で、グラビア印刷業の信頼が確保できるとすれば、それ以上の喜びはありません。プロジェクトの推進、なんとしても、頑張ってください！

今年の春は埼玉県のVOC規制条例の施行にともなう対応に追われ大忙しだったという富原部長。お忙しい中を縫って、金曜の18:00からという遅い時間にやっとインタビューの時間を取ることができたのですが、お仕事の話から趣味の話しまで、ずいぶん長時間お話を聞かせていただきました。特に印象的だったのは、「インクの販売を通じて繋がっているお客様とは一心同体も同然。だからこそ、お客様に本当に役立つ提

先輩社員・えりのハリキリ姐御日記

志賀口えり

3月末に弊社ベランダで突如ハトさん一家が卵を温め始めたのですが、4月上旬に孵ったヒナたちもうすっかり大きくなりました。皆さん、ご存知ですか？普通赤ちゃんは生物の種類を問わず可愛いのですが、ハトの赤ちゃんは例外的に超不細工！鶏のヒヨコのように黄色くてフワフワではなく、まばらな毛から黒い地

肌が透けて見えてなんとも気持ち悪いんです～。(T_T)でも、毎日成長を見守っているうちに、そんなブサイクなヒヨコにも情が移ってだんだん可愛く見えてきました。

特に、お父さんお母さんに餌をねだるとのピヨピヨという声がカワイイんです。シガゲチのデスクはベランダのすぐ横なので、忙して目が回りそうな時に、ふとあのピヨピヨが聞こえてくるとホッとします。



早くも羽ばたきの練習中です

案のできる会社でありたい。」という言葉。仕事人としての心意気がビシビジと伝わってきて、「社会人として、私もこのような姿勢をぜひ見習わなければ」と感じました！

【第8回コンバーティング機材・特殊印刷展 公式HP】
入場事前登録はこちらの公式HPからどうぞ！

<http://www.cmmjsp.com/j/index.html>

さて、次号のラミ通信では、3月に行われた「ラミネーションフィルム・ペレット加工見学会」の様子をお届けします。お楽しみに！

お問い合わせ、ご質問、「ラミ通信」メール配信のご依頼などは下記問合せ先へ！担当は志賀口(しがぐち)です！

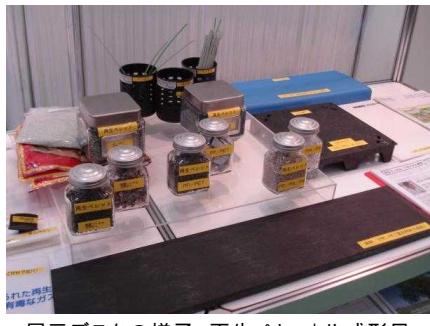
発行:ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会 事務局:「積層樹脂フィルム専門リサイクルコンサルティング」(株)ファー・イースト・ネットワーク
東京都新宿区西新宿7-1-7 タイカンプラザ A館 4階 TEL:03-5337-3235 FAX:03-5337-3224 main@fareastnetwork.co.jp

ラミフィルム・リサイクル通信

第26号 (5月14日号)

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

皆様こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です！皆様はもうGWの休みボケからは覚められたでしょうか？私は今年は沖縄・座間味島でゆっくりし過ぎて、未だ社会復帰が難しいです。(涙)さて、今回の26号では、最近のラミリサイクル・プロジェクトの進捗状況等をご報告いたします。



展示デスクの様子。再生ペレットや成形品サンプルを展示しました。



賑わうサカタインクス株ブース。当プロジェクトのコーナーでは、入社3週間目の井口(写真左端)も説明員として大奮闘しました。

大成功！第8回・コンバーティング機材・特殊印刷展

既にラミ通信でも何度もお伝えしておりますとおり、去る2007年4月25日から28日まで東京ビッグサイトにて、コンバーティングに関する様々な分野の会社が一同に集い、一押しの新製品や新技術を発表する年に一度の大展示会・「第8回 コンバーティング機材・特殊印刷展」(CMM JAPAN & JSP 2007)が開催されました。当プロジェクトはサカタインクス株式会社様ブース内の一角落をお借りいたしまして、新提案の「プラスチックフィルム・クロースド・リサイクル・システム」をPRいたしました！

環境への配慮を前面に打ち出した今回のサカタインクス様ブースの展示は、コンバーターの皆様の高い関心を集めたようで、毎日たくさんのお客様が来場されていました。

当プロジェクトのコーナーでは、相溶化技術を利用して作られたラミネーションフィルムの再生ペレットのサンプル、および再生ペレットを使って作られた成形品の展示や、ペレット加工の模様のビデオ上映などを行いました。会期中は沢山のお客様にお立ち寄りいただきましたが、中には、サンプルを手に取ったり、におい(!)を嗅がれるお客様、ペレット加工の模様の映像を食い入るようにご覧になるお客様、われわれスタッフに疑問点を尋ねられて真剣にメモを取るお客様も沢山いらっしゃって、この取り組みへの注目度の高さをひしひし感じた4日間でした！

ご来場いただきました皆様、どうもありがとうございました！

4月26日 全国グラビア協同組合連合会・理事会にてプレゼンテーション！

また、4月26日には、全国グラビア協同組合連合会様の理事会にて「プラスチックフィルム・クロースド・リサイクル・システム」についてプレゼンテーションをする機会に恵まれました。会場は丸の内・大丸の最上階にあるルビーホール。さすが業界団体の年次会議や各種表彰式、結納などに使われる会場だけあって白をメインとした内装も格調高く、理事の皆さん(そうそうたるグラビアコンバータの社長さんたちです！)がずらりと並んだ室内に入ったときは思わずゾクゾクッと緊張してしまいました！

理事の皆さんの中でプレゼンを行ったのは、サカタインクス株式会社・事業開発部推進本部・富原部長(ラミ通信24/25号にご登場いただきました！)と当プロジェクト代表・村井の2名。再生原料加工の模様を撮影した映像を交えつつ、クロースド・リサイクル・システムをご説明しました。プレゼン終了後の質問タイムでは、さすがにグラビア印刷の専門家集団だけあって、「2階に設置することを考えて、機械の総重量」を知りたいなど、非常に具体的・実際的な質問が次々と寄せられました。当プロジェクトにとっても、プロジェクトのPRは勿論、グラビアコンバータの皆さんとの生の声やリサイクルへのニーズを伺う素晴らしい機会になりました！

「フィルム・ニュース 第32号」にクロースド・リサイクルが取り上げられました！

さて皆様、フィルム・ニュース社様発行の「フィルム・ニュース 第32号(07/4/30発行)」はお読みいただけましたでしょうか？第一面の左上に、サカタインクス株式会社様の取り組みとして、「プラスチックフィルム・クロースド・リサイクル・システム」が紹介されました。フィルム廃材を、工場内に設置した小型リサイクルプラントで再生原料に加工するこのシステムは早くもマスコミに注目されたようです。皆様是非ご覧になって下さいね！

さて、次号のラミ通信は、今回ご紹介できなかった、3月の「ラミネーションフィルム・ペレット加工見学会」の様子等、盛りだくさんの内容でお届けします。お楽しみに！

編集部より

コンバーティング機材・特殊印刷展にご来場いただきました皆様、改めてお礼申し上げます。私・シガグチも説明員として2日間会場にお邪魔しましたが、嬉しかったのはお客様に「あっ、あなたがシガグチさん？通信読んでるよ。」と声をかけていただいたことです。発行当初には考えられなかった皆様からのリアクションに、正に「継続は力なり」をひしひし感じました。これからも頑張って発行してきます！

お問い合わせ、ご質問、「ラミ通信」メール配信のご依頼などは下記問合せ先へ！担当は志賀口(しがぐち)です！

発行:ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会 事務局:「積層樹脂フィルム専門リサイクルコンサルティング」(株)ファー・イースト・ネットワーク
東京都新宿区西新宿7-1-7 タイカンプラザ A館 4階 TEL:03-5337-3235 FAX:03-5337-3224 main@fareastnetwork.co.jp

ラミフィルム・リサイクル通信

第27号 (6月7日号)

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

皆様こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です！

2006年9月よりスクラップ回収をスタートしたラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクトですが、これまでプロジェクトメンバーの既存設備を利用してペレット加工を行っていたため、大量生産ができないのが悩みの種でした。しかし、この5月、とうとうオーダーしていたラミフィルム専用リサイクルマシンが完成！先月末には茨城県にある当プロジェクトのメンバー様の工場へ無事設置が完了いたしました。今回の26号では、その機械設置の模様をレポートいたします！

2007年6月 ラミリフィルム専用リサイクルマシン ついに稼動開始！

当初は2007年2月には稼動開始予定だった当プロジェクトのラミフィルム・リサイクル専用マシンですが、よりラミフィルムリサイクルに適合したマシンへと設計・仕様などを追及しているうち、完成が伸び延びになっておりました。しかし先月とうとう製造が完了、去る5月31日、とうとう設置の日を迎えました！

設置当日の作業は8時に早くもスタート！機械運送・設置の専門業者さんのトラック2台を使い、はるばる東京港より機械が運ばれてきました。混練機の本体だけでも3000kg超と相当の重量があるため、さぞかし設置は時間がかかるのではと想像していたのですが、さすが機械運送業者の皆さんには手馴れたもの。何と、ジャッキで機械を持ち上げてその下に小さな車輪を入れてゆっくり機械を動かし始めました。子供の頃歴史の本で見た、「エジプトのピラミッド用の石を運ぶ時に、重い石の下に丸太を入れて動かした」という話し思い出していました。

大まかな搬入が完了したところで、次は工場の皆さんの出番です。「制御盤はここに置いたほうが操作しやすい」「モーターがここに来ると操作性が悪いので別の場所へ」など、日ごろの経験に基づいて、各パートの最適な配置を決めていきます。ワイワイガヤガヤやっているうちに、手際のいい皆さんのおかげで、無事設置は完了！設計開始から完成までやや時間がかかってしまったこともあり、設置完了した機械を前に、編集担当・志賀口、プロジェクト代表・村井社長ともいっそう感慨深いものがありました！



重い機械の下に車を入れて、フォークリフトで押して少しづつ動かします。



熱心に作業風景を見学する参加者の皆様

キラキラ新入社員

ヒロエのはじめの一歩

皆様、お久しぶりです 新入社員の井口です。入社してあっという間に2ヶ月が経ってしまいました。特に1ヶ月目はてんてこ舞いでしたが、だいぶ慣れてきました*(*^_^*) 弊社では、電話はワンコールで取らなければいけないので、最初は電話にピクピクしていました(((;・・))) でも今では自慢の反射神經(?)で、瞬時に電話に出ています。皆様、弊社にお電話する際にはチェックしてみてくださいね！

^(*^_^*) 井口博愛

6月20日、リサイクルプラント見学会開催！

ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクトでは、2007年2月、3月にかけて数回に渡り、既存設備を使用したラミネーションフィルムの再生原料加工の見学会を開催いたしました。出席なされたのは、工場内クロースド・リサイクル・システムの開発・販売でご協力いただいているサカタインクス株式会社様をはじめ、ラミネーションフィルム・リサイクル・システムの導入を検討されている関東のコンバーター様、業界団体の関係者の方々などなどです。写真は3月に行われた見学会の模様ですが、参加者の皆さんは機械を覗き込まれたり、ペレットを手に取られたりと大変熱心で、弊社スタッフも質問攻撃にタジタジする程でした！

さて、リサイクル専用機の設置が完了し、プロジェクトではラミフィルムリサイクルに感心をお持ちのコンバーター様向けに、6月20日(水)にリサイクル見学会を開催いたします！ご参加のお申込お待ちしております！

日時：2007年6月20日(水) 14:00開始(1時間程度)

場所：茨城県結城郡八千代町

参加ご希望の方は、6月13日(水)必着で、メールまたは電話にて事務局：(株)ファーイーストネットワークまでお申し込みください。
詳細をご連絡させていただきます。

次号でも、最新のプロジェクト進捗状況をお届けします。お楽しみに！

お問い合わせ、ご質問、「ラミ通信」メール配信のご依頼などは下記問合せ先へ！ 担当は志賀口(しがぐち)です！

発行：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会 事務局：「積層樹脂フィルム専門リサイクルコンサルティング」(株)ファーイースト・ネットワーク
東京都新宿区西新宿7-1-7 タイカンプラザ A館 4階 TEL:03-5337-3235 FAX:03-5337-3224 main@fareastnetwork.co.jp

ラミフィルム・リサイクル通信

第28号 (6月13日号)
発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です！そろそろ関東地方も梅雨入りでジメジメした季節がやってきますね。学生時代にスポーツのしすぎて痛めた膝が痛くなる季節ですが、皆様はお元気で過ごしですか？

「包装技術」2007年6月号に掲載されました！



さて、コンバーターの皆様の中には、日本包装技術協会に加盟されていらっしゃる方々も多いかと思います。このたび、その日本包装技術協会様の機関紙「包装技術」2007年6月号に、当ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクトが執筆した記事「積層樹脂フィルムのコストダウン・リサイクル～工場内でのクロースド・リサイクル処理の取り組み～」が掲載されました！これまでリサイクル不能であったラミネーションフィルムをリサイクル可能にした技術的背景から、印刷フィルムを工場内に設置したプラントで再生原料に加工する工場内フィルム・リサイクルまで6ページにわたり解説しております。既にお手元に「包装技術」6月号が届いてる日本包装技術協会・会員のコンバーターの皆様、是非29ページからに掲載されている弊社記事をご覧ください！なお、「包装技術」は日本包装技術協会の会員でない皆様でも購入可能です。ご希望の方は下記までご連絡をお願いいたします。

<<「包装技術」購入のご連絡は日本包装技術協会 広報部まで>>

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階 (社)日本包装技術協会 広報部 TEL:03-3543-1189

2007年7月11日(水) 「軟包装キャリア塾」にて講演決定！

来る2007年7月11日(水)、12日(木)の両日、東京千代田区・北の丸公園内の科学技術館にて、株式会社日報アイ・ビー様(コンバーターの皆様にとっては「週間 包装タイムス」「月間 食品包装」等でおなじみですよね！)が主催する「第2回・軟包装キャリア塾」が開催されます。そして、何とこの軟包装キャリア塾の7月11日(水)開催のセミナーにて、当プロジェクト代表の村井が「積層樹脂フィルムのマテリアル・リサイクル」というテーマで講演をすることが決定いたしました！ 参加ご希望の方は、日報アイ・ビー様のホームページTOP(<http://www.nippo.co.jp/>)より、「イベント情報・主催展示会」、「第2回 軟包装キャリア塾」、「セミナー概要」とクリックしていくと、参加申し込みフォームがございます。

また、会場内の「展示交流ホール」内、サカタインクス株式会社様のブース(8号館 8-6)におきまして、「工場内クロースド・リサイクル」についての展示をさせていただきます。こちらも是非ご来場下さい！

さて、ラミ通信をご覧の方におトクなお知らせです。今回、会場内に設けられる「展示交流ホール」への招待券を、先着20名の皆様にプレゼントいたします！(招待券がない場合、1000円/1日の入場料が必要となります。なお、この券ではセミナーにはご参加いただけませんのでご注意を！)ご希望の方は、編集担当・志賀口までメールまたはお電話でお申込ください。ご応募お待ちしております！



先輩社員・えりの姉御日記

4月に発行した「ラミ通信」にて、弊社に2名の新入社員が入社したとお知らせしました。そのせいか、お客様からよく「新入社員の女性の方はいつも電話に出てくるけれど、男性はどうしたの？」とよく訪ねられます。じ、実は、なんと男性新入社員・U君は入社2週間と1日にして突如退職してしまったのです！(T_T) 正確に言うと、2週間の新宿事務所での研修を終え、お取引先の工場へ出向勤務になったその日に、「予想していた仕事と違いました。」という電話が来て、即日退職となりました。弊社も入社前から、男性は工場作業がメインになると説明を十分していたつもりだったのですが、こういう事になって非常に残念です。U君が本当に自分に合った職場にめぐり合えることをお祈りしています。

それにしても2週間で退職とは…。最近の男の子というのは根性がないのかしら？女性は若くても皆本当にしっかりしていて強いんですね。頑張れ、男の子！

志賀口英里

6月20日「ラミ・リサイクル見学会」 引き続き参加者募集中！

さて、前号で告知いたしました今月20日のラミフィルム専用・リサイクル機械の見学会に多数のお申し込みありがとうございます。引き続き参加者を募集中ですので、ご希望の方は、15日(金)までに事務局・志賀口までご連絡下さい。

【日時】 2007年6月20日(水) 14:00～

【場所】 茨城県結城郡八千代町

詳細はお申込後ご連絡させていただきます。

それでは、次号もお楽しみに！

ラミフィルム・リサイクル通信

第29号 (7月5日号)

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です！ようやく梅雨らしくなってきた関東地方ですが、皆様いかがお過ごしですか？さて、去る6月20日、ラミ通信で参加者を募っていた「ラミフィルム専用リサイクルマシン見学会」が、開催されました！今回はその見学会のレポートをお送りいたします！

6月20日「ラミフィルム専用リサイクルマシン見学会」レポート！

去る5月、ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト初のラミリサイクル専用マシンが設置され、とうとうこの6月より稼動を始めました！そして先日6月20日、お客様をお招きして見学会が開催されました。

会場は、茨城県内にある当プロジェクトメンバーの工場です。当日お越し下さったのは、関東近県を中心としたコンバーター、ならびに業界誌記者など総勢26名のお客様。朝から真夏かと思うような日差しと蒸し暑さの中、わざわざ工場までお集まりいただきました。

当日使用した原料は、関東近県のあるコンバーター様より回収させていただいているラミネーションフィルム・スクラップです。回収されてきたフィルムはまず粉碎機にかけられ細かい破片に破碎されます。この工場は設置面積の都合上、原料投入用のコンベアが設置できないため、スクラップは大きなバッグに詰めて吊り上げられ、タンクの上部まで持ち上げられて投入されるんですよ！

モーターのスイッチを入れるとタンク内の羽が回って、スクラップ粉碎品がどんどん押出機に送り込まれていきます。そして、待つことしばし…、溶かされて、添加剤とともにスクリューで練られたラミフィルムがニヨロニヨロニヨロ～と細いひも状(ストランドといいます)になって出てきました！再生原料(ペレットといいます)に加工するには、このストランドを水の中で冷却し、カットします。

工場の方が手馴れた様子で冷却用水槽の中にストランドを通し、造粒機(カッター)にかけていくと、出口からは再生原料がどんどん出てきます。今回設置された専用機は、時間処理量約400kg。これで、毎月にして、80トン以上のラミフィルムが、再生原料としてリサイクルされます！

7月以降も、当プロジェクトではリサイクルマシンの見学会を行っていく予定です。次回日程はまだ未定ですが、今後ラミ通信上で発表していく予定です。お見逃しなく！



リサイクル専用機。ピカピカの新品！



真夏日にもかかわらずたくさんの方々にお集まりいただきました！



ストランドと造粒機。ひも状の樹脂を細かくカットすればペレットの完成です。

雑誌「コンバーテック」6月号に掲載されました！

さて、コンバーティング総合情報誌の「コンバーテック」(加工技術研究会様発行)といえば、コンバーターの皆様にはおなじみの雑誌ですよね！このコンバーテック・2007年6月号に、4月に行われた「第8回コンバーティング機材・特殊印刷展」のレポートが掲載されていますが、9ページのサカタインクス株式会社様ブースのレポート内で、当プロジェクト

が提案する「プラスチックフィルム・クローズド・リサイクルシステム」の展示についてご紹介いただきました。

まだお読みでない皆様、是非書店で「コンバーテック」をご注文下さい！

それでは、次号もお楽しみに！

自指せ炎の リサイクラー 先輩社員・えりのハリキリ姐御日記 志賀口英里

一人暮らしの編集・志賀口、葱や大葉など、少ししか使わない野菜は使い切る前に腐らてしまうのが悩みでした。そこで始めたのが家庭菜園。香辛野菜に始まり、小松菜やルッコラなど作るうち、すっかり家庭菜園の魅力に目覚めてしまいました！今では家のベランダが植木鉢だらけです。しかも、全部食べられる植物ばかり。楽しい上に、エンゲル係数も下がり一石二鳥です。

そして、ついに先日は「食べられる野草」なる本を購入してしまいました。身近に生えているペンペン草のようなものが食べられるなんて新鮮なオドロキ！最近では歩いている途中に雑草を見かけると、「あ、これ食べれる！」と突然立ち止まって摘んでしまうので、挙動不審な人に見られるのが悩みです。

ラミフィルム・リサイクル通信

第30号 (8月28日号)

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは、ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です。久々のラミ通信発行ですが、皆様お元気でしたか？最近の猛暑に耐えかねて、普段はあまり飲まない私も、近頃ちょくちょくビールを飲むようになりました。でも、飲みすぎで自分自身がビール腹にならないか心配です。皆さんも気をつけてください！

7月11日、12日 「軟包装キャリア塾」 講演&展示ブースレポート



お客様でいっぱいの会場。皆様、ご参加ありがとうございました！

去る7月11日・12日の2日間、東京・千代田区 北の丸公園内の科学技術館にて、株式会社日報アイ・ビー様主催の「第2回 軟包装キャリア塾」開催されました。

こちらの催しでは、講師さまざまな講師が登場し業界の最新情報を取り上げるセミナーが開催されたのですが、弊社代表・村井も11日14:50からの講演を担当させていただき、ご参加の皆様にラミネーションフィルム・リサイクルをPRいたしました！

また、展示ホールでは、4月の「第8回 コンバーティング機材＆特殊印刷点」同様、サカタインクス株式会社様のブース内にて、「工場内クローズド・リサイクル・システム」のご紹介をさせていただきました。

当日はあいにくの雨となりましたが、わざわざ講演にご参加いただきました皆様、また展示ブースに立ち寄っていただきましたたくさんの皆様、本当にありがとうございました！

急いで!
残席わずかです!

8/30(木)

「日本ポリエチレンラミネート製品工業会」セミナーにて講演決定！

さて、またまた講演のお知らせです。今週木曜日(8/30日)、日本ポリエチレンラミネート製品工業会様が主催する「3R推進とVOC規制対応」に関するセミナーが東京・浅草橋の東日本プラスチック健康保険組合会館にて開かれますが、当プロジェクト代表・村井がラミネーションフィルム・リサイクルについての講演を行うことになります！まだ若干席に余裕があることですので、ご興味のある方はぜひご参加下さい！セミナーに関する詳細は日本ポリエチレンラミネート製品工業会様(TEL:03-3661-3834 担当:戸上様)までお問い合わせ下さい！

[セミナー詳細]

日時：8/30(木) 13:20-14:20 村井健児による講演 「積層樹脂フィルムのコストダウンリサイクル」

なお、セミナー全体の開催時間は13:00-18:00です。他にも食品包装、3R推進とVOC規制対応に関連した3つの講演が行われます。

場所：東日本プラスチック健康保険組合会館・研修室(JR総武線、地下鉄浅草線「浅草橋駅」徒歩4分)

参加費：3000円/人（当日、受付にてお支払い下さい）

自指せ!炎の
リサイクル

先輩社員・えりのハリキリ姐御日記

以前の通信にて、ハトの夫婦が弊社ベランダで卵を産み雛を育てている話を書いたところ、それ以降、お客様に「お宅の会社のハトはどうなったの？」とよく聞かれます。実はあの子バトたち、かわいそうなことにカラスに襲われ食べられてしまつたんです。(ToT)

ところが先月週、再びベランダにハトの夫婦がやってきてまたまた卵をうんできました！そういうわけで弊社ベランダではただいまハト夫婦の子育て第2ラウンドの真っ最中。暑い季節で発育がいいのか、子ハトちゃんはもう大人のハトと同じような大きさになりました。なのに、まだピヨピヨと鳴いて餌をねだるんですよ。「親のすね」をかじっている大学生みたいでオモシロイです。

志賀口英里



手前が親バト、後ろが子バト。もはやどっちが親なのか分からぬ大きさです。

なお、上記セミナーへのご参加には日本ポリエチレンラミネート製品工業会様への事前申し込みが必要です。詳しくはお電話にて日本ポリエチレンラミネート製品工業会様(TEL:03-3661-3834 担当:戸上様)までお問い合わせ下さい！

それでは、次号もお楽しみに！

ラミフィルム・リサイクル通信

第31号 (9月21日号)

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です。いよいよ残暑も過ぎて秋本番ですね。私は今年も工場で熱射病になりダウンしてしまったほど暑さが苦手なので、やっと涼しくなりホッと一安心です。皆様はいかがお過ごしですか？

8月30日 日本オリエチレンラミネート製品工業会セミナー レポート



講演の模様。皆さん非常に熱心で、質問も沢山頂きました。

講演ではスライドを使い、ラミネーションフィルムリサイクルの技術的な説明や、マテリアルリサイクルによるCO2排出削減量などのデータ、当プロジェクトのプラントやリサイクル専用機の写真等をご紹介しました。

また、当プロジェクトのラミネーションフィルムリサイクル技術は、添加剤による改質によって、再生原料の品質を向上させることができることが大きなポイントですが。添加剤による改質前後のサンプルをお配りし、実際にご参加の皆様に手に取っていただき、添加剤による改質の効果を確認していただきました。

講演終了後ご参加の皆様より、ラミネーションフィルムリサイクルについての様々なご質問をいただきましたので、ここで少しご紹介させていただきます。

【質問1】廃棄物に関する法律に抵触しないか？また工場は廃棄物中間処理の免許を持っているのか？
((回答))ラミネーションフィルムは、回収にかかる費用も含めて有価物として引取るため、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で規定される廃棄物には当てはまりません。これについては、環境省ホームページ内に公開されている平成17年3月25日付けの通達(環廃産発050325002)で詳細をご確認いただけます。また、工場は中間処理の免許を取得しておりませんが、前記の理由によりラミフィルムは廃棄物とならないため、免許取得の必要はないと考えております。

【質問2】再生原料の販売先は確保されているのか？急にスクラップが回収不能になる心配はないのか？
((回答))販売先ですが、現在成形メーカー等へ材料を持込み成形テストを依頼するなどして、更なる販路拡大を行っております。また、近年の原油高騰によるバージン原料値上がりで、再生原料の需要が増大し、価格も上昇しています。将来急にこのトレンドが変わって再生原料価格が大幅下落したり売れなくなったりするためにスクラップ回収が滞ることは、現時点では予想し難いと考えております。

自指せ!炎の リサイクラー 先輩社員・えりのハリキリ姐御日記

志賀口英里

当プロジェクトの事務局ファーイーストネットワークは東京の新宿に事務所を構えていますが、最近その新宿で頻繁に見かけるのが、白地に緑と赤の字の書かれた平たい箱をもった人々。実はコレ、今新宿で超人気のドーナツ店「クリスピーカリーム」の箱なのです。新し物好きのシガグチ、「是非身をもって体験を！」と早速南新宿のお店に行ってみました。

ところが、なんと店の前には100人を越えるお客様の長蛇の列！「ここまで来はては素手で帰れまい」と並ぶこと数10分後、ついに話題のドーナツを入手しました。さてお味のほどは…、なるほどこれは美味しい。さくさくといくらでも食べられる軽い食感が非常に危険です。気付けば一気に3つも食べてしまいました！



これが噂のクリスピーカリームドーナツ。手土産にすれば話題になることウケアイですよ

ラミ通信読者の皆様も、ラミリサイクルについていろいろと疑問点、不安などがあるのでは…、と思っております。疑問・ご質問などがありましたら、是非当事務局・シガグチ宛にお寄せ下さい！紙面、または直接ご連絡しお答えします！

では次号でも、ラミフィルム・リサイクルに関する最新情報をお届けします。お楽しみに！

ラミフィルム・リサイクル通信

第32号 (10月23日号)

発行元：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です。最近風邪が大流行していますね。弊社もスタッフが次々風邪に倒れる中、なぜか社長だけがひとり元気一杯！あの気力・体力を見習いたいです。

世界最大規模のプラスチックの展示会「K 2007」当プロジェクトが参加決定！



K2007の会場となるDüsseldorf Fairgrounds。全17個のホールをフルに使い開催される大展示会です。

今月末の24日から31日にかけて、ドイツはデュッセルドルフにて、世界最大規模のプラスチック、ゴム、およびその関連製品の展示会「K 2007」が開催されます。なんと今回その「K 2007」に、当ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクトが出展し、ラミフィルム・リサイクルを世界に向けてPRすることに決定しました！

今回の出展の経緯ですが、実はGAP社というイタリアのインフレーション機器メーカーの社長さんがたまたま当プロジェクトのことを耳にされ、「ぜひこの技術をヨーロッパにも紹介すべきだ！」と、GAP社のブース内の一角落を当プロジェクトに貸して下さることになり実現したものです！K出展は当プロジェクトにとっても目標だったのですが、まさかこんな形で

実現するとは！GAP社関係者の皆さん、本当にありがとうございました！展示会の模様については、また後日ラミ通信上にてご報告させていただきます！

ラミプロジェクトを支えるプラスチック・マイスター 大阪ガスケミカル・西野氏インタビュー

さて、後半はおなじみのインタビューシリーズです。今回は、ラミネーションフィルム・リサイクルの技術面での鍵である「相溶化技術」をご提供いただいている大阪ガスケミカル様より、西野雄大さんにご登場いただきます！



大阪ガスケミカル：西野雄大氏
大学卒業後、大阪ガスケミカルの研究所へ。根っからの研究者体質だそうです。

ラミ通信・志賀口(以下ラミ通信)：まずは、西野さんが現在されているお仕事について教えてください。

大阪ガスケミカル・西野氏(以下西野)：大阪ガスケミカルでは、石炭からガスを抽出していた時代より培ってきた石炭化学技術をバックボーンに、活性炭や液晶、カーメレンズ用途の高品質のプラスチック等、幅広い素材の開発・製造を行っています。僕の担当は、主に相溶化コンバウントの製造や品質管理です。ラミネーション・プロジェクトでは、生産された再生原料の物性データの測定や、成形条件出しを担当しています。

ラミ通信：再生原料加工のテスト時には、配合を変えて何種類もの材料を作りますが、その物性データを一つずつ全部測定していただいているのが西野さんなんですね。物性データ測定というのは一見あまり表に出るお仕事ではないですが、弊社のお客様がペレットの成形テストを行う際にも、ペレットの購入を決定する際にも最終的な決め手になるのは物性データなんです。ですから本当に重要なお仕事なんですよ。西野さんにはお世話になりっぱなしで、もう大阪に足を向けては寝られません。では、「ラミフィルム・リサイクルに関わってみて、ここが面白い」という点を教えてもらえませんか？

西野：そうですねー、僕の仕事は研究所での作業がメインで、実際の試作現場などに立ち会うチャンスはさほどなかったのですが、このプロジェクトに関わり始めて、成形現場などの立会いをする機会が増えました。現場を見るといろいろ勉強になり面白いですね。

ラミ通信：そう言っていただけれど、当プロジェクトとしてもうれしいです！では、最後に西野さんのこれからのお目標について一言お願いします。

西野：「相溶化技術」は色々な樹脂を組み合わせそれぞれの良い点を引き出し、それぞれの長所を合わせ持った樹脂を作り出せるスゴイ技術ですから、それがリサイクルに利用されることで環境貢献になるというのは本当にすばらしいことだと思います。僕もせっかくご縁あってこのプロジェクトに関わることになったのですから、少しでも品質のいい再生ペレットが作り出せるよう、できる限り協力していきたいですね。

個人的には、汎用樹脂からエンジニアリング・プラスチックまで、あらゆる樹脂に触れて行きたいです。「何でも知っているプラスチック・マイスター」になりたいですね。とにかく樹脂が大好きなんですよ。(笑)

キラキラした目で樹脂について語る姿は、既にプラスチック・マイスターの風格十分な西野さん。この日は客先でのテストの後わざわざインタビューへご協力いただき、本当に疲れ様でした！それでは次号もお楽しみに！

ラミフィルム・リサイクル通信

第33号 (2007年
10月31日号)

発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です。いよいよ秋も終盤に突入ですね。朝晩もすっかり冷え込むようになり、私もついに先日今年初めてマフラーをしてしまいました。皆さんはお元気ですか？

社団法人日本包装技術協会 酒井事務局長インタビュー

さて、これまで当プロジェクトの開発や推進に携わる皆様にご協力いただいたインバーシリーズですが、今回は趣向を変えて、包材関連の業界団体である「日本包装技術協会」より常務理事/事務局長の酒井様にご登場いただきます！



酒井光彦氏(日本包装技術
協会・常務理事/事務局長)

ラミ通信・志賀口(以下ラミ通信)：ご無沙汰しております。昨年(2006年)、日本包装技術協会様の11月度の月例研究会にて、当プロジェクト代表・村井がスピーカーを勤めさせていただきまし際は大変お世話になりました。初めて公の場所で皆様にラミネーションフィルム・リサイクルをPRしたことでのこのプロジェクトへの認知度がグッと上がり、その後お客様からのお問い合わせが倍増したんですよ！

日本包装技術協会・酒井事務局長(以下酒井)：そうですか。日本包装技術協会はセミナー、シンポジウムの開催や会の機関紙である「包装技術」の発行を通じて会員にとって有益な情報を提供することが勤めですから、月例会のテーマとして取り上げた私たちにとって、反響が大きかったというのはうれしいことです。

ラミ通信：包材に関する情報を総合的に扱っていらっしゃるお立場から、何か当プロジェクトに対する疑問・質問などをいただければと思いますが。

酒井：そうですね、まず輸送費の問題をどうクリアするのかが気になります。グラビアコン

バータの工場は色々な場所に点々と分散していますが、採算は本当に取れるんでしょうかね？

ラミ通信：まず、輸送費については私たちにとっても大きな懸案事項だったのですが、このたび大手物流業者にご協力いただき、その物流ネットワークを利用させていただくことになりました。これまで回収にお伺いできるお客様が限られており、自社便でのスクラップ持込をお願いすることもあったのですが、これで回収に伺えるエリアが広がり、また、大きな輸送コストダウンにもつながりました。

酒井：品質はどうですか？よく似た材料で、容器包装リサイクル法に基づいて回収された包材から作られるペレット(通称「容リペレット」)がありますが、せっかくマテリアルリサイクルされたのみ品質はあまり良くないようですが。

ラミ通信：当プロジェクトで製造するペレットは、一般廃棄物から回収されてくる包材とは違い、食品残渣などリサイクルの邪魔になる不純物が少ないです。排出時の分別の徹底と、相溶化による改質により、ずっと高品質のペレットができますよ。販売についても、国内の成形メーカーなどに持ち込み粘り強くテストなど行った結果、注文がかなり増えてきています。現在、原油の値上がりによりプラスチックの価格が高騰していますが、そういう追い風も受けて手ごたえは予想以上ですね。

酒井：なるほど、そうですか。現在、グラビア印刷コンバーターは、原料が値上がりするのに、製品価格には値上がり分を転嫁できず、経営状況が非常に厳しい状況が続いているからね。ラミフィルムスクラップをマテリアルリサイクル原料として販売することで、廃棄物処理費用の削減につながるのであれば、グラビアコンバーターにとっては助かるでしょうね。グラビアコンバーターの負担削減の助けになるよう、リサイクルシステムの構築と普及を進めるようこれからも頑張ってください。

ラミ通信：どうもありがとうございます。

さすが日本包装技術協会の事務局長さんだけあり、お話はラミフィルムやリサイクルだけにとどまらず、包材メーカーとコンバータが直面する状況などの重要なテーマにまで及びました。非常に参考となるインタビューとなり勉強になりました。ご協力ありがとうございました！ それでは次号もラミ通信をお楽しみに！

先輩社員・えりのハリキリ姐御日記

アウトドア好きシガゲチ、先日の週末は秋の尾瀬・至仏山登山で紅葉を満喫してまいりました。ところが、うっかり登山靴の底が壊れそうになっていたのを点検し忘れていたため、なんと頂上を目前に靴が大破！底がペロリ～んとはがれてしまったのです！同行の友人がスペアの靴紐で修理をてくれたため、無事登頂・下山には成功しましたが、随分汗を冷やしました。アウトドアは危険が伴いますから、自分を守るためにも装備の点検は必須！改めて備えあれば憂い無しの言葉をかみしめた一日となりました。今後は仕事に対してもこの教訓を生かしたいです。

(写真)至仏山の岩場を前に大破し、天寿を全うしたシガゲチの登山靴。長年どうもありがとうございます！



ラミフィルム・リサイクル通信

第34号 (2007年
11月28日号)

発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です。最近本格的に寒くなり、いよいよ冬ですね！風邪が流行していますが、予防にはまず「うがい」が第一だそうです。私も最近、外から帰った際には必ずうがいを励行していますが、病原体にも負けず元気いっぱいです。皆さんもぜひどうぞ！

10/24~10/31 世界最大のプラスチック関連製品展示会「K2007」出展報告！

さて、以前のラミ通信でも告知したとおり、当ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクトは、先月10/24-31までドイツはデュッセルドルフで開かれた世界最大規模のプラスチック、ゴム、およびその関連製品の展示会「K 2007」に出展いたしました。今回の出展ですが、イタリアのインフレーション機器メーカー・GAP社の社長さんの「ラミネーションフィルム・リサイクル技術を是非ヨーロッパにも紹介するべきだ。」というご好意により、GAP社のブース内的一角をお借りできることとなり実現したものです！GAP社ご関係者の皆様、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました！



K 2007の大きな看板の前でパチリ！左より当プロジェクト代表村井、ラミサイクルに使用する添加剤を開発・販売されている大阪ガス(株)と大阪ガスケミカル(株)のご担当者様です。



お客様でいっぱいのGAP社ブース。手前のガラスケースに展示されているのが、ミルムリサイクルペレットと成形品のサンプルです。

今回のKショーの会場となった Messegelände Düsseldorf (デュッセルドルフメッセ)は、全17ホール、面積25万2千m²(東京ビックサイトの約3倍です！)の広大な敷地を誇る見本市会場です。このデュッセルドルフメッセをフルに使用して開催されたこのK2007ですが、さすが世界最大級のプラスチックの展示会だけあり、8日間の会期の総参加人数が20万人超、なんと全体の50%はドイツ以外の世界各地からいらしたお客様でした。

規模も世界一なら、展示内容もまたスゴイのがさすがKショー。何とインフレーション成形用の大きな機械（フィルムを吹き上げるあの背の高～い機械です）が何台も展示され、お客様の前で実際にフィルムを吹いてしまうなど、他の展示会では絶対に見られないような大規模な展示に度肝を抜かれてしました。

当プロジェクトの展示スペースにも、韓国、イタリア、スペイン、ポルトガル、フランス、ポーランド、オランダ、ドイツ、イスラエル、インド、スリランカ、ブラジル、オーストラリア、マレーシア、シンガポールなどなど、ヨーロッパから中東、アジアまで様々な国のお客様が立ち寄られ、ラミネーションフィルムのマテリアルリサイクル技術の紹介ポスター やサンプル品を興味津々でご覧になっていらっしゃいました。

会期中は当プロジェクトの代表・村井がブースに立会っており、ご来場の皆様からのご質問にお答えしました。「どうしてマテリアルリサイクルが技術的に可能なのか？」「できあがったペレットは売れるのか？用途は何か？」「フィルムの印刷はどうなるのか？」など、寄せられる質問は日本のグラビアコンバーターの皆様からいただくご質問とほぼ同じ。国は違えど、ラミネーションフィルムの処理に頭を悩ませているのはやはり世界共通のようです。各国のコンバーター様のラミフィルム・スクラップの排出状況ですが、イタリアでモツツアレラチーズ、ドイツはソーセージ、中国はザーサイ用の包材スクラップが年間数百トン単位で排出されるなど、さすがに食品包装フィルムだけあってそこはお国柄が表れていて非常に興味深かったです。

ブースを訪問されたお客様の中には、現地のスタッフがこたえられなくなってしまうほど詳細な内容にまで踏み込んだ質問をされる方も多い、当プロジェクトにとっては、ラミネーションフィルム・リサイクルへの感心の高さをひしひしと感じじことができた貴重な一週間となりました！

先輩社員・えりのハリキリ姐御日記

志賀口えり

アウトドア好き・シガゲチ、海も山も寒くて遊びに行けないこの季節は一体何をしているかというと、実は人知れずトレーニングにいそんでいます。そんな私が先月から始めた最強のトレーニングが「階段登り」！何か特別な運動をやるわけではなく、移動のときにエレベーター、エスカレーターを使わず階段を登るという簡単なものです、実はこれが効果絶大なんです！

シガゲチが出勤に使っている都営地下鉄・大江戸線は東京でもっとも深いところを走っている地下鉄で、駅は地下5階くらいの深さにあるため、毎日階段の上り下りだけでもバカにならない運動量です。しかも弊社オフィスは4階のため、やれランチに出るわ、郵便局に行くわでここでも結構な運動量。階段登り開始後、何とジョギングでタイム更新をしてしまいました！皆さん、トレーニングにはスポーツクラブや特別な道具は要りません。今年の冬は「階段登り」でメタボに打ち勝ちましょう！



来年こそはダイビングのライセンスを取得します！マンタと一緒に泳ぐぞー！

それでは、次号もラミネーションフィルムリサイクルに関する最新情報を届けいたします。お楽しみに！

ラミフィルム・リサイクル通信

第35号 (2008年
1月25日号)

発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトの志賀口です。遅くなりましたが、新年明けましておめでとうございます！弊社は今年もラミフィルムリサイクルに邁進してまいりますので、何卒よろしくお願ひいたします。

日本ポリエチレンラミネート製品工業会・戸上専務理事インタビュー

さて、今年最初のラミ通信はおなじみのインタビューシリーズをお送りいたします。今年のトップバッターとしてご登場いただくのは、日本ポリエチレンラミネート製品工業会・戸上専務理事です！

ラミ通信：いつも大変お世話になっております。まずは、日本ポリエチレンラミネート製品工業会について、どのような団体か教えていただけないでしょうか？

戸上専務理事(以下、戸上)：はい、日本ポリエチレンラミネート製品工業会は日本ポリエチレン製品工業連合会の傘下にある組織で、多数の包材ラミ加工メーカーさんに会員としてご加盟いただいています。環境等諸問題に取り組み、セミナーなどを通じた情報提供なども行っています。

ラミ通信：昨年は当プロジェクト代表の村井も、昨年8月の貴工業会開催のセミナーにプレゼンターとしてお呼びいただきましたよね。大変お世話になりました。

戸上：他にも、一般消費者への啓発活動や意見交換も行っています。昨年10月には、消費者団体の代表の方々と会合を持ち、「適正包装」に関しての意見交換を行いました。誰だって地味なパッケージより、ボリューム感があってキレイなパッケージに入った商品のほうに目が行くし、つい買いたくなるものでしょう。一方では、いくら包材メーカーが工夫をして環境に優しいパッケージを作っても、肝心の消費者に受け入れられず商品が売れないということもあります。

12月には、新しい試みとして、私たちは容器包装製造事業者になるわけですが、容器包装利用事業者(中身メーカー)さんと消費者のご代表との3者による懇談会も実施いたしました。

ラミ通信：なるほど、そういう新たな試みも行っているんですね。その場での意見などを会員企業にもフィードバックしているんでしょうか？

戸上：ええ、そうです。会員企業さんが環境という切り口からのビジネスチャンスをつかむヒントになればとの気持ちもあり、日々がんばっています。

ラミ通信：ラミフィルムリサイクル・プロジェクトとのご縁は、一昨年弊社ファー・イースト・ネットワークの代表・村井が工業会を訪問したことにはじまりますが、最初のこのプロジェクトへの印象はいかがでしたか？

戸上：包材スクラップのリサイクルを進めていくにあたり、一つの課題があります。廃棄するスクラップには客先のお名前などが印刷されていますから、ぞんざいな廃棄方法で飛散や流出が起きれば、包材メーカー自身の信用問題になりますからね。また、発売前の製品の情報が漏れるようなケースも懸念もされます。ですから、業界としてはコストももちろんですが、まず第一に「安全なリサイクル手法」を求めているわけです。そのような視点から考えると、このラミネーションフィルムリサイクルは面白いかもしれないな、と思いましたね。(インタビューは次号に続きます)

2年目社員・えりのハリキリ姐御日記

遅くなりましたが、明けましておめでとうございます。さて、にいかれましたか？私は東京タワーのふもとにある愛宕神社に行って来ました。この神社の名物は、正面入り口にある通称「出世の石段」と呼ばれる急階段。この名前は、その昔徳川家光公の「あの石段の上にある梅の花を取って参れ」という命令に従い、見事な手綱さばきで馬を操り急勾配の石段を駆け上がったという馬術の名手・曲垣平九郎の故事にちなんだものです。石段のふもとに立ってみると、まさか馬で駆け上がるなんて絶対無理くらいの急勾配！たった90段あまりなのに、日々ランニングに励むシガグチでも、足が痛くなるほどでした。

さて、無事家光公に梅を献上した平九郎は「当代一の馬の名人」と称えられ、その名声は一夜にして日本中にとどろいたとのこと。新年に出世の石段を登って願掛けしたシガグチも、2008年は平九郎にあやかって大出世となるのでしょうか？楽しみです！

志賀口えり
皆様は今年の初詣はどちら



出世の石段は最大斜度何と38度！スキーフィールドの上級コース並みです！

(株)ファー・イースト・ネットワーク 祝 ついにホームページ完成！

さて、ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクトの事務局である(株)ファー・イースト・ネットワークのホームページが遂に完成し、昨年末より閲覧可能になりました！(といっても、志賀口が作ったささやかな手作りホームページなのですが...)日々の事務に更新作業も後手後手に回っておりますが、最新情報を提供できるよう頑張って参ります！

((HPアドレス))

<http://fareastnetwork.co.jp>

ラミフィルム・リサイクル通信

第36号 (2008年
2月1日号)

発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクト・志賀口です！ここ最近、寒波が到来していますが、皆様の地方はいかがでしょうか？弊社・新工場の建設予定地の茨城はさすが北関東だけあり非常に寒いです。最近寒い地方の女子高生の間では、制服のスカートの下に体育ジャージを履く「埴輪ルック」が定番になりつつあるそうですが、気持ちが分かるなあ。

日本ポリエチレンラミネート製品工業会・戸上専務理事インタビュー

さて、前号に引き続き、日本ポリエチレンラミネート製品工業会・戸上専務理事のインタビュー第二弾です！

ラミ通信：元々化学メーカーで樹脂営業に携わってきた戸上専務理事ですが、プロの立場から、ラミフィルムペレットの品質についてはどう思われますか？後学のためにも、是非正直なご意見をお聞かせください。

戸上：きれいにペレットになっていますね。でも、異なる樹脂が相溶化（注）してペレットになっているだけではダメですよ。他の再生プラスチック原料との差別化を図るためにには、色のコントロールや、ペレットの物性の向上など、まだまだ改良を重ねる必要がありますね。これからが頑張りどころですね！

注 相溶化とは？…通常、異なる種類のプラスチックを混合して加熱・溶融しても、樹脂は分離して交じり合うことはありませんが、ここに両方の樹脂に親和性のある薬剤を添加すると、樹脂が均一に混じり合います。この作用を相溶化といいます。（株）ファーイーストネットワークでは、異なる樹脂が張り合わされたラミネーションフィルムのリサイクルにこの相溶化技術を活用し、再生原料への加工・販売を行っております。



（相溶化前後の比較）
相溶化していない左側は、異樹脂が分離した状態で固まっているため、表面はざらざらし、もろく破断しやすい状態です。相溶化した右側は、表面もなめらかになり、強度も向上しています。

ラミ通信：うーん、忌憚なきご意見ありがとうございます！大変手厳しいアドバイスですが、参考になります。頑張ります！さて、最後に当プロジェクトへのメッセージをいただきたいのですが。

戸上：現在、原油・ナフサの高騰や需給バランス等から原料樹脂の値上げがとまらない状況です。更に、環境問題への関心も高まっています。再生原料にとっては、まさに追い風が吹いている状態ですが、そこに浮かれないでほしいですね。風向きが変わった時にも、安定した供給量と品質、価格の安さで固定ファンが付き、売れ続ける原料にならなければいけませんよ！

ラミ通信：はい、これからも社員一丸となって品質向上に頑張ります！本日はどうもありがとうございました！（インタビューおわり）



工場全景。広々とした300坪の工場です！

（株）ファーイースト・ネットワーク

ラミリサイクル自社工場、ついに開設！

さて、これまで既存のプラスチックリサイクル業者様への委託加工を中心に行ってきた（株）ファーイースト・ネットワークですが、この度、待望の自社工場をオープンすることになりました。場所は茨城県。300坪の広々した倉庫を、2月のオープンにあわせ急ピッチでラミネーションフィルム専用リサイクル工場に改装中です！

ラミリサイクル専用の押出機を段階的に4台設置し、2008年末までに、

2年目社員・えりのハリキリ姐御日記

志賀口えり

さて、工場オープンに先立ち、現在お取引先の工場に置かせていただいている弊社・ラミリサイクル専用押出機の調整・修理を行うことになり、中国の機械製造メーカーよりエンジニアが来日しました。ところが、英語の話せるエンジニアの都合がつかず、来日することになったのは中国語のみしか話せない2人のエンジニア！しかも通訳もなしに来日です。トラブルが起きたらどうするの？空港での出迎えは？ホテルへの迎えや食事など毎日のアテンドは？など、心配だらけで来日を迎えるました。

空港では、まるで旅行会社のように「熱烈歓迎」（中国語で「ようこそ！」）の看板をもって出迎えたからか、無事会話ができる安心。心配していた言葉の問題には、「旅の指差し会話帳」で対応です。面白いのは、二人は何の変哲もない食堂や道端、普通のスーパー・マーケットなど、とにかくあらゆるところで写真を取りまくることです。そんなに日本が珍しいのかなあ？そんなエンジニアのお二人はとっても働き者で、工場オープンに間に合うよう、朝の8時から夜の8時までフル回転で働いてくださいました。おかげで機械の調整も無事完了。これで工場オープンも準備万端です！

搬入などを終えて、徐々に工場らしくなってきました。これで、受け入れ可能なラミネーションフィルムの量も増大し、これまでコンバーターの皆様にご迷惑をかけた状態も解消いたします。これまでのリサイクル商社業務から一步踏み出す弊社を、今後ともよろしくお願いします！

今後の工場稼動の様子については、また今後のラミ通信でお知らせいたします。それでは、次号もお楽しみに！

ラミフィルム・リサイクル通信

第37号 (2008年
3月12日号)

発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクルプロジェクト委員会

こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトです！まだ寒い日もありますが、最近なんだか春めいてきてウキウキするこの頃、皆様いかがお過ごしですか？先日は、昨年ハトが巣を作った弊社ベランダに、早くもハトのカップルがやってきて巣作りの場所の下見をしていました。まもなく春到来も間近ですね！



経済産業省・「異分野連携新事業分野開拓事業」 (通称:新連携事業) の認定を受けました！

さて皆様、「新連携」という言葉をご存知でしょうか？正確には、「異分野連携新事業分野開拓」といい、異なる分野の事業を行っている複数の中小企業が集まり、それぞれの経営資源(設備、技術、知識など)を出し合うことで、これまでにはなかった新しい製品やサービスを作り出す取り組みをいいます。国では、このような新事業計画を「異分野連携新事業分野開拓計画(通称、新連携事業計画)」として認定し、補助金の交付、政府系金融機関からの低利融資など、さまざまな支援を行い、その事業としての確立を応援しています。この「新連携」の認定を受けるべく、当ラミネーションフィルム・リサイクルプロジェクトを主催する(株)ファーイーストネットワークは、「積層樹脂フィルムのマテリアルリサイクルの事業化」というテーマで昨年より準備を進めてまいりましたが、この度認定が決定し、去る2月28日、さいたま新都心にある関東経済産業局にて認定証の授与が行われました！



認定式の会場となった、さいたま新都心の関東経済産業局の高層ビル。ピッカピカです！

認定式が行われたのは、埼玉県は大宮駅のお隣り・さいたま新都心にある経済産



関東経済産業局地域経済部長様
より、認定証を手渡されました！

業省・関東経済産業局。さいたま新都心の駅を降りて程近くに立つ真新しい高層ビルです！式に出席したのは弊社・ファーイーストネットワーク社長の村井を筆頭に、今回の新連携事業の関係者の面々。「ヒャー、こんな立派な会場で認定式が執り行われるのか～！」と、皆緊張した面持ちで会場入りしました。

そんな我々の緊張をよそに、認定式はこぢんまりした個室で行われ、終始リラックスしたムードで進行しました。認定証の授与をいただいた関東経済産業局・地域経済部の部長様からは、「この事業はグラビア印刷コンバーターの皆さんに、とって福音となる技術ですね。乗り越えていかなければならない課題はありますが、今後の事業の確立、および普及を目指し頑張って行って下さい」とのお言葉を頂きました！昨年4月に申請の準備を始めた頃には、まだ自社設備も何もなかった当プロジェクトですが、現在では自社工場をオープンするなど、この一年間に、徐々にリサイクル事業としての形が整ってきました。今回の認定で、来年度より補助金、低利融資などの支援が受けられることに決まり、これで、動き出したビジネスが軌道に乗るため一層はずみがつくはずです！

2月19、20日 東洋紡PPS主催・「第18回PPSコンファレンス」にて講演しました！

さて、コンバーターの皆様には、パッケージに関するセミナーの開催や情報提供サービス等を行われて

もうすぐ3年目社員・えりのハリキリ姐御日記

編集担当:志賀口えり

さて、2月上旬より弊社・ラミリサイクル工場がオープンいたしました。弊社社長の村井も、本格稼動が始まるまでの間は立ち会おうと茨城入りましたが、問題なのは工場までの距離。弊社の本拠地は東京・新宿のため、工場のある茨城県の片田舎までは、とても毎日通勤できる距離ではありません。そんなわけで暫定措置として、会社の事務所棟のプレハブに布団を敷き、「まあ何日間かの辛抱だから」と寝泊りすることになりました。

ところが、大きな誤算が発覚！今回の工場オープンのために数名の人材を採用したのですが、それでも人手が足りないため、社長自ら工場で生産を行うことになってしましました。いざ稼動が始まると、スクラップフィルムの荷受、下処理、ペレット製造など毎日大忙し。時間に追われ、結局アパートを借りる暇もないまま、なんと事務所住まいが一ヶ月を超えていました！先日は、社長の高校時代の同級生の皆さんがカンバを募って、何と簡易ベッドをプレゼントして下さいました。これでますますプレハブ生活の快適度(?)が高まったという村井社長、毎日事務所に寝泊りしつつ、絶好調でペレット生産にいそしんでいるそうです。

入社以来2年あまり社長の姿を見てきたシガグチ、社長のタフさは知っていましたが、ここまで来るとアッパレです！でも、お願ひだからお風呂にはちゃんと入ってくださいね。

いる東洋紡PPS様といえばもうおなじみですよね！去る2月19日と21日、東京と大阪にて開催された、東洋紡PPS様主催の「第18回PPSコンファレンス」にて、(株)ファーイーストネットワーク社長の村井がラミネーションフィルムのリサイクルについて講演を行いました！詳しい内容については、来号のラミ通信にて、東洋紡PPS様のインタビュー等も交えてご紹介する予定です。

では、次号もラミリサイクルの最新情報ををお伝えしてまいります。お楽しみに！

発行:ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会 事務局:「積層樹脂フィルム専門リサイクルコンサルティング」(株)ファーイースト・ネットワーク

東京都新宿区西新宿7-1-7 タイカンプラザ A館 4階 TEL:03-5337-3235 FAX:03-5337-3224 main@fareastnetwork.co.jp

ラミフィルム・リサイクル通信

第38号 (2008年
4月15号)

発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトです！桜の季節も終わり、もうすっかり季節は春ですね。入学、就職シーズンですが、皆様の会社は新入社員は入られましたか？弊社は今年は新入社員はいませんが、3月末より工場で数名のアルバイトさんを採用し、本日もフレッシュなメンバーで稼働中です！

2月19、20日 東洋紡PPS主催・「第18回PPSコンファレンス」にて講演しました！

去る2月に開催された東洋紡PPS様主催の「第18回PPSコンファレンス」にて、当プロジェクトを主催する(株)ファーイーストネットワーク社長の村井がラミネーションフィルムのリサイクルについて講演を行いました。

今回のPPSコンファレンスは東京(2月19日)と大阪(2月22日)の2会場にて行われました。さすが権威あるコンファレンスだけあり、他の講演者の皆様は大手メーカーで最先端技術を開発されているエンジニアの方々ばかり。アカデミックな会場のムードに、当プロジェクト代表・村井もやや緊張の面持ちでしたが、プレッシャーにも負けず、ラミネーションフィルムのリサイクル技術を堂々ご紹介しました。

質疑応答では、「不法投棄などの心配はありませんか？」、「うちでも沢山フィルムスクラップが出ているのですが、引き取っていただけるんでしょうか？」、「有価で買い取ってもらえるんですか？」「中国に輸出されてしまうことはないですか？」など、主催者である東洋紡PPSの皆さんも「今日は随分質問が多いですねえ～」と驚かれるほど沢山の質問が集まり、業界の皆さんのラミネーションフィルムリサイクルへの関心の高さを肌で感じができる貴重な2日間となりました。



大阪会場にて講演する村井。会場が立派なホールだったため大緊張したこと。

株式会社東洋紡パッケージング・プラン・サービス(東洋紡PPS)

教育部 エグゼクティブアドバイザー・御子氏インタビュー



さて、恒例のインタビューシリーズとして、今回はPPSコンファレンスにて司会進行役を勤められた、株式会社東洋紡パッケージング・プラン・サービス 教育部エグゼクティブアドバイザーの御子勉様にご登場いただきます！

ラミ通信：今回は、村井を講師としてお招きありがとうございました。

東洋紡PPS・御子勉氏(以下、御子)：講演の質疑応答でも随分沢山の質問が集まり、随分参加者の注目を集めました。講師をお願いした弊社も嬉しいことです。

ラミ通信：こちらこそありがとうございます！さて、東洋紡PPS様といえば、もう包装関係各社の皆さんにはおなじみの会社とは思いますが、まずは簡単に活動内容などを教えていただけませんか？

御子：東洋紡PPSは、包装についての総合的な情報提供サービスを行っています。海外のパッケージ情報を会員様への提供 包装関係の専門書の出版や、セミナー等、包装に関する各種講座開催 会員様への販促協力として、展示会ブース企画やカタログ・ホームページ制作などですね。

ラミ通信：書籍も色々出されていますよね。今見せていただきましたが、フィルムの層構成を非常に細かく分析したり、コンバーティングや製造、加工の方法など、非常に専門的な内容に踏み込んで書かれた本ばかりですごいですねえ。

御子：ええ、綿密なデータを取れるよう、東京・大阪のオフィスでは分析機器を備えて自社スタッフで測定を行っているんですよ。また、定期的に、書籍の内容に沿った講座を開催しています。実験などを交えて、書籍の内容についてより理解を深めていただけると思いますよ。包材メーカー、食品メーカーなど企業への出張セミナーも行っていますので、ファーイーストさんも是非いかがですか？

ラミ通信：そうですね。今は工場立ち上げで精一杯ですが、この先、営業スタッフや、工場の作業スタッフに是非受けてもらいたい内容ですね。

御子勉氏：

東洋紡に入社以来、営業開発、包材研究と長年包材に関わり、現在は東洋紡PPSにて、包材関連の教育活動に従事。東洋紡PPSのセミナーでも講師をされるだけあり、とてもお話が上手で、とっても分かりやすく樹脂やフィルムの特徴などを説明してくださいました！



東洋紡PPS発行の書籍の数々。非常に専門的で精密な内容です。

インタビューは、次号に続きます！次号もお楽しみに！(今号は、えりのハリキリ姉御日記はお休みします。m(_ _)m)

発行:ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会 事務局:「積層樹脂フィルム専門リサイクルコンサルティング」(株)ファーイースト・ネットワーク

東京都新宿区西新宿7-1-7 ダイキンプラザ A館 4階 TEL:03-5337-3235 FAX:03-5337-3224 main@fareastnetwork.co.jp

ラミフィルム・リサイクル通信

第39号 (2008年
5月12日号)

発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトです！弊社工場もオープンからようやく3ヶ月が経過しました。2月に採用した新しい工場スタッフたちも、そろそろ皆仕事に慣れて、徐々に上り調子になってきています。皆様の会社の新入社員の皆様はいかがでしょうか？さて、今号のラミ通信では、前回に引き続いrinterviewシリーズをお送りいたします。

株式会社東洋紡パッケージング・プラン・サービス(東洋紡PPS) 教育部 エグゼクティブアドバイザー・御子氏インタビュー



塩素系フィルムの見分け方をレクチャーする
御子さん。大変分かりやすかったです！

ラミ通信：今回の第18回PPSコンファレンスに、村井を講師として招かれた理由を教えてください。選定のポイントになった点はどこですか？

東洋紡PPS・御子勉氏(以下、御子)：パッケージの高機能化に伴い、近年では、包装材料もさまざまな素材のフィルムを貼り合わせた複合素材が主流となっていました。しかし、単一素材と違い、複合素材はリサイクルができないため、廃棄にコストがかさみます。そもそも、パッケージとして使われるフィルムには、商品名や企業名が印刷されていますから、廃棄するにもまず安全を第一にして、コスト面は二の次とせざるを得ませんでした。そんな時に、このラミネーションフィルムのマテリアルリサイクル技術について耳にしたわけです。これまで産廃として有料で処分するしかなかった複合素材フィルムが、リサイクルの原料として有価買取されるようになり、しかも再生原料として加工されて有効活用されるなら、これは非常に注目だ、と思いました。

ラミ通信：弊社のリサイクル技術のどのような点に期待されていますか？また、アドバイスなどあればお願ひいたします。

御子：仮に、複合フィルムの樹脂の層をそれぞれはがして分別し、それぞれ単一樹脂としてリサイクルできるような方法があればいいのでしょうか？それは技術的に非常に無理な話です。現時点では、ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクトで行われている、添加剤の力で異なる樹脂同士を相溶させることで高い物性を実現するという方法は、コスト面の現実性から考えても、ベストな方法だと思いますね。2月に新工場を建てられて事業の滑り出しも順調なようですから、あとは今後、リサイクルの実績を地道に積み上げていくことで、認知度がどんどん高まっていくのではないでしょうか？まずは再生ペレットの販売量を拡大してゆくために、官公庁の事業で使用する材料などに採用してもらったりできるといいででしょうね。せっかく有望な事業なのですから、ぜひとも大きくビジネスを広げていってください！

ラミ通信：本日はどうもありがとうございました！

2008年10月7日～11日 「2008東京国際包装展」(東京パック2008) 出展決定！

さて皆様、本年の10月7日～11日の5日間、東京ビックサイトにて「2008 東京国際包装展(東京パック2008)」が開催されます！包装業界に携わる皆様にとって、もうおなじみの展示会と思いますが、本年はついに我がファー・イースト・ネットワークが単独出展し、ラミネーションフィルムリサイクルをPRすることになりました！現在、弊社では専門の業者さんにブースデザインを依頼中。皆様に分かりやすくラミネーションフィルムリサイクルの仕組みや、弊社工場でのリサイクル処理の様子を知っていただくことができるよう、いろいろと工夫を凝らした展示企画を考えております。東京パックにいらっしゃるご予定の皆様、また、出展される企業の関係者様、まだ少し先の話になりますが、是非ご来場の際は弊社ブースへお立ち寄りください。出展ホール、コマ名など詳細は、決定しだいまたラミ通信上でお知らせさせていただきます！

編集担当：えりのハリキリ姐御日記

編集担当：志賀口えり

さて皆様、今年のGWはいかがでしたか？私シガグチは、スクユーバーダイビングのライセンス取得のために、沖縄へ旅行に行ってまいりました。ダイビングライセンスの取得には、ダイビングに必要な技術や、安全管理のために必要ないいくつかの動作を水中で練習し、テストに合格しなければなりません。全2日コースのうち1日目のプール講習は楽々こなせたため、「もうライセンスは取ったも同然」と余裕たっぷりでいたところ、なんと2日目の海洋実習でトラブルが発生！ボートの上から「ジャイアントストライドエントリー」というスタイルで、船の縁を飛び越え眼下の海にドボンと入水するのですが、実は気がちっちゃいシガグチ、船の縁に立って1mほど下の水面に飛び込むことがどうしても怖くてできません。「お風呂みたいに、ソローリとつま先から入っちゃ駄目ですか？」という私に、無常にも「この入水方法もテスト項目なので、パスしなければライセンスが取れませんよ！頑張れ頑張れ」と叱咤するインストラクター。周りのみんなになだめられ、なんとか水に入るまでに何と20分も掛かりました。(汗)しかし、一旦水の中に入った後はテストも順当にパスし、無事ライセンス取得できました。海はとても楽しいので、これに懲りずにまたダイビングに行きたいのですが、うーん、次は無事に海にドボンできるかなあ。

発行：ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会 事務局：「積層樹脂フィルム専門リサイクルコンサルティング」(株)ファー・イースト・ネットワーク

東京都新宿区西新宿7-1-7 ダイキンプラザ A館 4階 TEL:03-5337-3235 FAX:03-5337-3224 main@fareastnetwork.co.jp

ラミフィルム・リサイクル通信

第40号 (2008年
7月22日号)
発行元：ラミネーションフィルム・
リサイクル・プロジェクト委員会

こんにちは！大変ご無沙汰しております。ラミフィルム・リサイクル・プロジェクトです！7月に入り先週あたりから本格的な暑い毎日になってきましたが、皆様いかがお過ごしですか？弊社工場は新しい従業員さんも入り、元気には24時間稼動中です。

7月25日(金) 軟包装衛生協議会主催「技術セミナー」にて講演いたします！



しばらくぶりの講演です。皆様のご参加お待ちしています！(写真はヨコハマネット製品工業会での講演の様子)

さて、この「ラミ通信」は主に食品パッケージの製造を行うコンバーター様・パッケージメーカー様にお勤めの皆様を中心に配信されていますので、軟包装衛生協議会様にご加盟の皆様も多いのではないか？

来る今週末の金曜・7月25日、東京は茅場町の油脂工業会館にて、この軟包装衛生協議会様が主催されるセミナー「軟衛協・技術セミナー」にて、当プロジェクト代表の村井が、「ラミネーションフィルムのマテリアルリサイクル」をテーマに講演を行うことになりました。ラミネーションフィルム・リサイクルにご興味をお持ちの方、久々の講演となりますので、是非この機会にご参加ください！

【軟衛協・技術セミナー 開催概要】

日時：2008年7月25日(金)13:00～17:00(予定)
会場：油脂工業会館9F大会議室
(軟衛協事務局があるビル。地図参照)
住所：東京都中央区日本橋3-13-11
連絡先：03-3548-4111(軟衛協事務局)
参加費：3000円/1名 (当日会場にて徴収)

講演テーマ：

4人の講師による、「菓子包装におけるユニバーサルデザイン化事例」、「クリーンルームの概要と維持管理」、「ラミネーションフィルムのマテリアルリサイクル」、「欧米における衛生法規の最新動向について」をテーマとした講演。

講演内容などセミナーに関する詳細は、軟包装衛生協議会様ホームページ (<http://www.naneikyo.com/seminar05.html>) をご覧ください。

なお、お申し込みは、下の軟包装衛生協議会様へファックスまたはメールにてお願ひいたします。 ファックス用の申し込み用紙は、軟包装衛生協議会様のホームページよりダウンロード可能です。

期日が迫っているため、お申し込みはお早めに！！

【セミナー出席お申し込み先】

E-Mail: Jimukyoku@naneikyo.com または、 FAX:03-3548-2939

ファックス用申し込み用紙ダウンロードはこちらへ

軟包装衛生協議会様ホームページ：<http://www.naneikyo.com/seminar05.html>

出展中止の
お知らせ



前回・39号にて告知しました、「2008 東京国際包装展(東京パック2008)」への出展ですが、事情により本年度の出展を見送ることにいたしました。今後は展示会準備にそそぐエネルギーを生産へ振り向けて、工場の増産体制に力を注いで参りますので、これからも弊社をよろしくお願ひいたします。

暫定工場長・えりのハリキリ工場日報

ラミ通信編集担当:志賀口えり

皆様お変わりありませんか？私は弊社工場へ赴任してはや一月半が過ぎ、初めての現場勤務にまごまごしながらも楽しくやっています。本当は「工場の事務管理などを行うために勤務」したはずなのですが、ただでさえ人手の足りない工場のこと、時には原料の粉碎を手伝ったり、フィルム原反を担ぎ上げたりと現場作業にも参加しているんですよ～。

さて、もう7月も半ばを過ぎこれから夏本番です。これからの季節で悩ましいのが、工場内の温度。弊社のようなリサイクル工場は、プラスチックを溶融するための押出機から出る熱で、夏場は工場内が50度を越えてしまいます。今のところはまだ平気ですが、これから本格的に盛夏を迎したら、いったいどんな暑さになってしまうんでしょうか？心配だ～～。でも、一ついいところを上げるとすれば、どんなに外が暑い日でも、一步工場から外出すると、「ああ、外は涼し～い！天国天国！」というさわやかな気持ちになってしまうところ。晚酌のビールも格別です！

発行:ラミネーションフィルム・リサイクル・プロジェクト委員会 事務局:「積層樹脂フィルム専門リサイクルコンサルティング」(株)ファー・イースト・ネットワーク

東京都新宿区西新宿7-1-7 ダイカンプラザ A館 4階 TEL:03-5337-3235 FAX:03-5337-3224 main@fareastnetwork.co.jp